

9月環境活動報告書

ビニール袋に続いて、最近、飲食店で脱プラスチックが進んでいるのを感じます
最近見たプラスチックに変わるエコなものを紹介します



いつのまにかアイスコーヒーの容器も
ストローも紙製になっている！

(ストローはあまり長く置いておくとふやけます 笑)



近くの弁当屋やスーパーでも
木製のスプーンやフォークに
変わっていますね



ミニストップのアイスのスプーンは
硬めのコーン生地？で
食べられるようです



なぜ脱プラスチックが進んだのか？

やはりマイクロプラスチック問題ですね

環境汚染の問題に大きく関わる「プラスチックゴミの問題」は、世界で重要な課題となっています。

不適切に処分されたプラスチックごみが大量に海に流れ出て、海の環境を汚し、海の生き物にも悪影響を及ぼしています。

このままだと、2050年には海のプラスチックごみは魚の量を上回ると予測されています

2020年7月には、経済産業省の呼びかけでプラスチック製レジ袋の有料化がはじまり

さらに2022年には、「プラスチック資源循環促進法という法律もスタートしています。

同法では企業に対し、ストローやフォークなどをプラスチック以外の素材に変える旨

の指針が規定されています。このような背景もあり各企業がSDGsを意識して

環境改善活動を行っているようです。プラスチックの削減は、SDGsの17の目標のうち

「11.住み続けられるまちづくりを」「12.つくる責任つかう責任」

「13.気候変動に具体的な対策を」「14.海の豊かさを守ろう」の4つに当てはまっています」



紙製品の最大のメリットは、処分の面で環境に優しいところです。

マイクロプラスチックを発生させることなく処分ができ、原料である原油の使用を控え、自然資源枯渇を

抑制することができます。地球資源の枯渇、地球温暖化、海洋汚染もSDGsのテーマになっていますので

毎バックや毎ボトルなどプラスチックごみを減らすことで貢献することができますので、自分に合った

方法で取り組んでいきましょう！



プラスチックの
削減もそうだけど
不法廃棄も問題よね

	内容	目標	当月実績	達成度合	判定	特記事項
節電大臣	消費電力の削減	1,598 kwh/月	1,984 kwh	80.5%	未達成	電気未達成
節水大臣	水道使用量削減	7.950 m ³ /月	6.965 m ³	114.1%	達成	
ごみ処理大臣	可燃ゴミ削減	21.60 Kg/月	13.29 Kg	162.5%	達成	
グリーン購入大臣	グリーン購入品推進	75 %/月	76.9 %	102.5%	達成	
製品サービス大臣	省エネ省資源化の提案	3 件/月	11 件	366.7%	達成	